

2020年6月11日

各 位

会社名 フォーライフ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 奥本 健二
 (コード：3477、東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 執行役員 渡辺 泰寛
 管 理 本 部 長
 (TEL：045-547-3432)

業績予想及び配当予想の公表並びに中期経営計画の取り下げについて

当社は、2020年6月11日開催の取締役会において、以下のとおり、業績予想及び配当予想の公表並びに中期経営計画の取り下げについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想について

新型コロナウイルス感染症(COVID19)の影響により未定としていた2020年度の業績予想をお知らせいたします。

(1) 業績予想

2021年3月期第2四半期(累計)業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	5,000	150	140	100	50.00
増減額 (B)－(A)	—	—	—	—	
増減率 %	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績	4,718	170	155	107	53.72

2021年3月期通期業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	10,500	320	290	200	100.01
増減額 (B)－(A)	—	—	—	—	
増減率 %	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績	9,630	331	305	209	104.98

(イ)分譲住宅事業について

分譲住宅事業につきましては2020年3月まで順調に仕入が確保できておりました。4月以降の緊急事態宣言以降は首都圏における外出自粛の動きを受けて、仲介会社の在宅勤務も進んだことにより仕入情報が3割程度減少しました。その結果4月、5月の仕入が減少し、今期第4四半期は従来のペースを下回る売上高を見込んでおります。

一方利益面に関しましては、新型コロナウイルス感染症の問題が完全に解決された訳ではなく不透明感が漂っていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた倒産も増加している中、消費者の消費行動にどのような影響を与えるかまでは判断がつかないため、販売価格を保守的に査定して当初計画を一定割合下回る利益率にて計算しております。分譲住宅事業は当社の主要事業であるため、今期の全体の営業利益率は3.0%(前年比△0.4pt)としております。

(ロ)注文住宅事業について

注文住宅事業におきましては、2020年4月末の段階で2020年度の売上に寄与する請負金額の受注残高が20億円を超えております。緊急事態宣言解除後に、急速に経済の回復の動きが進んでおりますが、サプライチェーンが遅滞する事態にならない限り、安定的に計画を履行できると考えております。

(2)公表の理由

当社が2020年5月20日に公表した「2020年3月期決算短信(日本基準)」においては、新型コロナウイルス感染症(COVID19)の感染影響を今期予算に合理的に見通すことが困難でしたが、政府による緊急事態宣言が解除され経済活動が再開されたこと及び、当社の4月～5月の売上高の実績、6月の売上見込から当社に与える影響は限定的であると考え、業績予想を作成し公表するものです。

2. 配当予想について

(1) 配当予想

(基準日)	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	10 円	20 円	30 円
(ご参考) 前期実績(2020年3月期)	0 円	30 円	30 円

(2) 公表の理由

上記の業績予想を勘案し、従来からの安定配当方針の継続も考え、2021年3月期の第2四半期および期末の配当を上記のとおり予想しております。

*上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

3. 中期経営計画の取り下げについて

2019年度を1年目とする中期経営計画を策定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により3年目(2022年3月期)の業績計画における見通しを立てることが難しくなっており、中期経営計画につきましては一旦取り下げさせていただきます。新型コロナウイルス感染症の落ち着きを確認した上で、中期経営計画を再作成する予定です。

以 上